

よ ぼくそう つく 良い牧草のタネはどうやって作る？

くまもとぼくじょう かちく しりょうさくもつ
 熊本牧場では、家畜のエサとなる、いろいろな飼料作物のタネづくりをしています。
 タネをとるときは、よいタネを農家に届けられるよう、国際的なルールに従った検査が必要です。

さいしよ はたけ けんさ
 最初に、タネをとる畑を検査します。



ばたけ けんさ

タネとり畑の検査

さくもつ そだ
 作物はよく育っている？
 ざっそう は
 雑草は生えていない？



タネとり

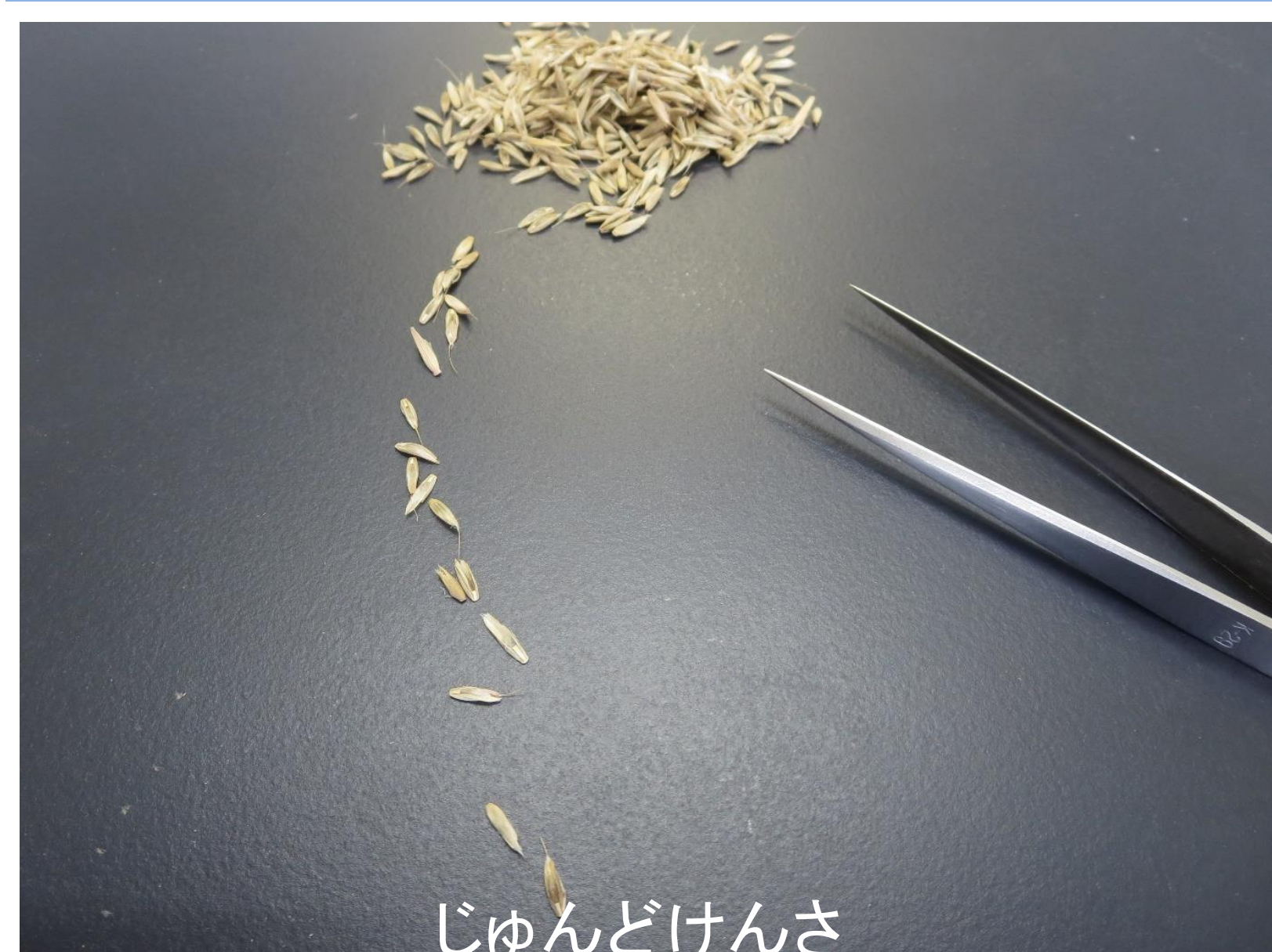
けんさ ごうかく はたけ
 検査に合格した畑からコン
 バインでタネをとります。



とれたタネ

はたけ
 きれいな畑からはよいタネ
 がとれます。

つぎ ひんしつ けんさ
 次に、とれたタネの品質を検査します。



じゅんどけんさ

純度検査

ざっそう ま
 雑草のタネなどが混ざって
 いないかピンセットで1粒
 ずつより分けて調べます。



はつがけんさ

発芽検査

タネをシャーレにまいてみて
 100粒から何粒の芽が出てく
 るか調べます。



さいばいけんさ

栽培検査

はたけ め
 タネを畑にまいてみて芽が
 出て正しく育つか調べます。

けんさ ごうかく のうか はんばい
 すべての検査に合格したタネが農家に販売されます。

くまもとぼくじょう つく しりょうさくもつ
 熊本牧場で作った、いろいろな飼料作物のタネ



ギニアグラス



イタリアンライグラス



エンバク



飼料イネ